

3

空調の省エネ事例

空調設定温度の管理徹底

クールビズ対応フィッティングルームモデル

日本橋高島屋4階プレタポルテ売場の事例

試着室は、空気や熱がこもりやすく、店内の冷房温度を弱めると、お客様からの暑さに対する苦情などが起こりやすい場所でした。

これを受け、高島屋では日本百貨店協会の協力を得て、クールビズ対応フィッティングルームのモデルを開発しました。従来の試着室の欠点を解消するため、涼しさを感じながら試着できるようにするため、省エネ性能が高いLED照明を使用するとともに、空気を循環させる「サーキュレーター」装置を取り付けています。また、LED照明やサーキュレーターは、センサーにより人を感知すると電源が入る仕組みにして、省エネを実現しています。さらに、見た目や体感でも涼しさを感じていただく為、ブルー系の壁紙を使用し、床はカーペットではなく、フローリングとしました。



八都県市による適温設定の呼びかけ（夏の28度設定、冬の20度設定）

「夏のライフスタイル実践」のねらい

環境にやさしいワーキングスタイルやライフスタイルの定着を図るため、「適温設定（28℃）、軽装での執務、省エネの取組推進」を自ら率先実行し、広く事業者や住民の皆様に対し、省エネルギー型ライフスタイルへの転換を呼びかけています。

※八都県市 = 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市



ワークスタイルの見直し

■ クールビズ、ウォームビズの取組

都庁舎玄関の写真

